

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	25274	
事業名	園内施設維持管理費						
評価担当課	所属名	環)円山動物園 経営管理課					
	課長名	佐々木 和規	担当者名	鈴鹿 新平	電話番号	011-615-8097	
施策名	主	自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	改善勧告への対応や、諸課題を解消するための改修を行う。				
		長期	飼育動物の頭数変化や、動物福祉の向上、来園者が動物を見やすい環境の整備など、動物園を安心・安全に運営するために必要となる改修を継続的に行い、持続可能な動物園の管理運営を行う。				
	取組内容	施設総点検等で老朽化や不具合、部分的な用途変更等により改修が必要な施設について、動物の福祉を念頭に、動物の高齢化対策も含めて飼育環境における安全安心に配慮した下記の修繕を行う。 ①施設総点検等による改善 ②計画的修繕					
	実施結果	年間100件以上修繕しているが、施設の老朽化や動物理由により、新たな改修必要箇所が多く発生するため、計画通りには改善要望箇所数は減っていない。					
事業実施における工夫点	施設改修の計画・設計・施工のプロセスについて、動物園だけでなく、都市局建築部、建設局緑の管理担当部などと協力して進めていく。						
対象者	来園者・動物園職員・飼育動物			開始	平成31年度	終了	令和5年度
関連法令・条例・要綱等	動物の愛護及び管理に関する法律						
他都市の状況	他都市においても、維持管理上必要な改修を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	30,503	45,000	23,755	52,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	4.0	4.0	4.0	3.0
人件費	28,800	28,800	28,800	21,600
計(事業費+人件費)	59,303	73,800	52,555	73,600
事業費の内訳	令和3年度決算	修繕費:16,673千円(各種修繕) 資本的支出:5,254千円(乾草庫新築工事実施設計・地質調査) その他:1,829千円(危険木伐採、園路植栽)		
	令和4年度予算	修繕費:10,200千円(各種修繕) 資本的支出:40,000千円(乾草庫新築工事) その他:1,800千円(危険木伐採、園路植栽)		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	施設総点検による改善要望箇所数(改修必要箇所数)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	192	134	169	100	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	年間100件以上の修繕・改修を実施し、老朽化への対応、動物福祉の向上に取り組んだ。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	限られた予算の中で、重要度・緊急度を勘案した上で、最大限の事業を実施している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	点検により発見された修繕や危険木の伐採について計画的に実施しているほか、個別に対応が必要となる修繕についても、重要度・緊急度を勘案した上で実施しており妥当である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	B	施設の老朽化や動物理由により、新たな改修必要箇所が多く発生するため、計画通りには改善要望箇所数は減らすことができなかった。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	施設の老朽化等に関する修繕については、整備計画を立て、必要となる修繕について予算を確保し、計画的に実行する。 また、動物福祉の向上に関する改修については、動物園基金や寄附等により実行していくことも検討する。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	修繕計画の策定		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	限られた予算の中で、重要度・緊急度を勘案した上で、年間100件以上の修繕・改修を実施し、最大限、老朽化への対応、動物福祉の向上に取り組んでいる。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 動物理由等により毎年修繕案件が新たに追加され、修繕箇所数を大きく減らすことができない状況である。整備計画を策定し、必要となる予算を確保した上で、計画的に修繕を実施していく。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 市有施設・設備のライフサイクルコストの縮減のため、防水改修や外壁改修等の計画的修繕を実施するための予算が必要である。		見直し効果額	0